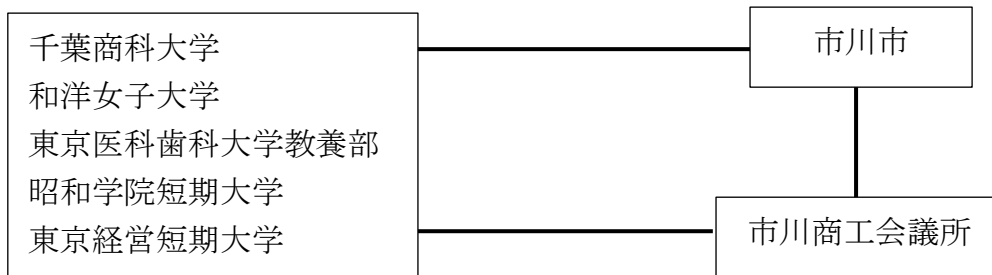


大学コンソーシアム市川産官学プラットフォーム中期計画における

本学の取り組み

(令和元年5月)



大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム

プラットフォームの取組	プラットフォームの活動指標	昭和学院短期大学の活動指標
①経営マインドを持ち地域活性化に貢献する人材の育成	経営関連科目を含める形で2019年度には40科目、2023年度までに80科目以上の単位互換制度	経営関連科目を含める形で2019年度は12科目、2023年度までに16科目以上の単位互換制度
	2023年度までに「市川学A～D」を通じて、地域活性化に貢献する人材をのべ200人以上育成する。	2023年度までに「市川学A～D」を通じて、地域活性化に貢献する人材をのべ10人以上育成する。
②ゆとりある子育て環境の実現と人材の育成	昭和学院短期大学の子育て支援センター等を通じて、子育て環境を知る学習を複数大学間で展開させていく。	昭和学院短期大学の子育て支援センター等を通じて、子育て環境を知る学習を複数大学間で展開させていく。
	200名以上の学生に市川市を中心とする地域での就職機会を提供し、地元就職率の向上を図る。	10名以上の学生に市川市を中心とする地域での就職機会を提供し、地元就職率の向上を図る。
③少子高齢化社会に対応できる地域医療・福祉	医療・看護・福祉関連科目を含める形で2019年度には40科目、2023年度までに80科目以上の単位互換制度	医療・看護・福祉関連科目を含める形で2019年度には12科目、2023年度までに16科目以上の単位互換制度(現在12科目)
	2023年度までに「市川学A～D」を通じて、市川で進行する少子高齢化社会に対応できる人材をのべ200人以上育成する。	2023年度までに「市川学A～D」を通じて、市川で進行する少子高齢化社会に対応できる人材をのべ10人以上育成する。
④現代社会のニーズにあった都市型ビジネスの展開	スポーツビジネスやブライダルビジネス、コミュニティビジネスなど都市型ビジネス関連科目を含める形で2019年度には40科目、2023年度までに80科目以上の単位互換制度	スポーツビジネスやブライダルビジネス、コミュニティビジネスなど都市型ビジネス関連科目を含める形で2019年度には12科目、2023年度までに16科目以上の単位互換制度
	2023年度までに「市川学A～D」を通じて、市川市の現状を踏まえたコミュニティビジネスや、スポーツビジネス・ブラ	2023年度までに「市川学A～D」を通じて、市川市の現状を踏まえたコミュニティビジネスや、スポーツビジネス・ブラ

	イダル産業等都市型ビジネスに貢献する人材、「地域つながり力」を持った人材をのべ200人以上育成する。	イダル産業等都市型ビジネスに貢献する人材、「地域つながり力」を持った人材をのべ10人以上育成する。
⑤在留外国人の増加に対応した地域づくりと国際化への対応	市川の地元の伝統産業や伝統芸能を伝承している地域住民を講師に招き、在留外国人にも参加を呼びかけて交流をはかる。	市川の地元の伝統産業や伝統芸能を伝承している地域住民を講師に招き、在留外国人にも参加を呼びかけて交流をはかる。
	CUC International Square等の施設を通じ、毎年5000人以上の利用者に体験型学習機会を提供する。	CUC International Square等の施設を借りて、2023年までにのべ20名以上国際化に対応できる人材を育成する。
	各大学の留学生・教職員等の人的資源を利活用し、市の配布物や標識の多言語化(特にベトナム語)への協力を行う。	—
⑥自然エネルギーの活用・資源サイクルとSDGsへの貢献	自然エネルギーの活用・資源リサイクルについて、市川市と協議を開始し、大学コンソーシアム市川が果たす役割を明確にする。	—
	2023年までにのべ400名以上のSDGsに詳しい学生を地域社会に送り出す	—
⑦地域コミュニティの再生と都市的無関心への対応の立案・実施	「市川学A~D」の中で、市川の伝統産業や伝統芸能を伝承している地域住民を講師に招き、学生と市川市の住民との交流会を年2回以上提供する。	「市川学A~D」の中で、市川の伝統産業や伝統芸能を伝承している地域住民を講師に招き、学生と市川市の住民との交流会を年2回以上提供する。
	高齢者にIT機器の操作やSNSの活用を教える講座を開く。	高齢者にIT機器の操作やSNSの活用を教える講座を開く。
⑧人生100年時代に向けた生涯学習への対応	「いちかわ市民アカデミー講座」をさらに発展させ、年間30回以上の市民向け講座を開催し、市川市民の生涯学習に対応していく。	「いちかわ市民アカデミー講座」をさらに発展させ、東京経営短期大学または東京医科歯科大学が1講座の講師を派遣し、年間10回以上の市民向け講座を開催し、市川市民の生涯学習に対応していく。
⑨地域文化資産の利活用に向けた協働	「市川学A~D」において市川市の自然・歴史について理解を深め、地域文化の活性化に貢献する人材を2023年度までにのべ200人以上育成する。	「市川学A~D」において市川市の自然・歴史について理解を深め、地域文化の活性化に貢献する人材を2023年度までにのべ10人以上育成する。
	市民活動団体が主催する各種の地域文化イベントに学生を派遣し、協働活動させることで、地域文化に詳しい学生を育成する。	市民活動団体が主催する各種の地域文化イベントに学生を派遣し、協働活動させることで、地域文化に詳しい学生を育成する。
	地域文化資産の利活用に向けた共同研究プロジェクトを毎年1件以上新たに立ち上げ、地域文化の掘り起こしを行う。	—
	市川市国府台地区で開催され	左記に参加する。

⑩都市型災害に強い地域づくりと災害時の相互連携	る共同防災訓練に 5 大学が年 1 回以上参加して実施する。	
	大学コンソーシアム市川に所属する各大学の防災備蓄品の実態を把握し、共同購入の可能性を検討する。(検討部会年 2 回以上実施)	大学コンソーシアム市川に所属する各大学の防災備蓄品の実態を把握し、共同購入の可能性を検討する。(検討部会年 2 回以上実施)
	地域住民向けに行われている「災害危機管理講座」の取り組みを大学コンソーシアム市川にも広げて、同講座の更なる活用を図る。	地域住民向けに行われている「災害危機管理講座」の取り組みを大学コンソーシアム市川にも広げて、同講座の更なる活用を図る。
⑪都市部女性のキャリアパス構築支援	女性起業家を一つのモデルとしてキャリアパス構築の支援事業を進め、毎年 80 名以上の参加学生を募集する。2019 年度中に第 1 回目を開催する。	毎年 15 名以上の参加学生を募集する。
⑫地域つながり力の素質をもった優秀な学生の確保	市川市教育委員会、千葉商科大学付属高校、和洋国府台女子高校、国府台高校、市川第一中学校、国府台小学校、筑波大学附属聴覚特別支援学校の関係者による協議会を年 1 回以上実施する。	—
	プラットフォーム形成大学・短期大学共同のニーズを調査する各大学の 3 月期～6 月期に開催されるオープンキャンパス来場保護者に対してアンケートを実施する。	—
	プラットフォーム形成大学・短期大学共同の高校訪問を実施する。2019 年度中に市川市内にある高校 14 校の内、10 校以上を目標に共同の高校訪問を実施する。	プラットフォーム形成大学・短期大学共同の高校訪問を実施する。2019 年度中に市川市内にある高校 14 校の内、2 校以上を目標に共同の高校訪問を実施する。
	大学コンソーシアム市川のパンフレットを作成し、学生募集活動を通じて配布し、認知度を高める。	大学コンソーシアム市川のパンフレットを作成し、学生募集活動を通じて配布し、認知度を高める。
	「キッズビジネスタウン®いちかわ」を毎年開催し、プラットフォーム形成大学・短期大学の教職員・学生がスタッフとして参加し、2023 年度までにのべ 3000 人以上の児童に対して教育活動支援を行う。	左記にスタッフとして参加する。

取り組み参加率 91.7% (11/12)

指標設定率 78.6% (22/28)

アウトカム指標	プラットフォームの活動指標	昭和学院短期大学の活動指標
学生の満足度	3.5 以上	3.8 以上
千葉県内への就職率	20%以上	70%以上